

子ども・子育て支援事業の進捗状況（1）

教育・保育の量の見込みと確保の内容

事業名		単位	平成27年度														評価コメント	今後の方針
			計画数値			実績			評価									
			A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際の ニーズ量 ／計画上 の確保方 C／B	◎:90～ 110% ○:70～90% 又は110～ 130% ×:～70%又 は130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D	◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又 は130%～		
1 1号認定（認定こども園及び幼稚園）		人	1,428	1,527	99	1,371	1,527	1,371	89%	○	100%	◎	89%	○	89%	◎	幼稚園の収容定員1,527人を確保方策と設定し、利用希望者を全て受け入れることができた。	当面は現状の確保方策を維持するように幼稚園と調整を図っていく。
(内訳) 1号認定			1,172															
2号認定（幼稚園希望者）			256															
特定教育・保育施設																		
確認を受けない幼稚園				1,527			1,527	1,371										
2 2号認定（認定こども園及び保育所）		人	3,529	3,698	169	3,779	3,698	3,729	102%	◎	100%	◎	100%	◎	102%	○	平成26年4月1日時点での3～5歳の保育所在園児数を確保方策としたが、それを30名程度上回る人数を受け入れることができた。なお、定員を超えた受入数だが、面積基準と保育士配置基準は満たしている。	必要量を確保できるよう、継続して職員等の確保に努める。 ただし、今後は必要量が減少する見込みのため、増加傾向の3号認定の確保方策と調整を図っていく。
(内訳)東部			713	747	34	768	777	761	102%	◎	104%	◎	101%	◎	98%	◎		
南部			892	935	43	955	961	944	102%	◎	102%	◎	100%	◎	99%	◎		
西部			856	897	41	937	932	922	104%	◎	103%	◎	102%	◎	100%	◎		
北部			1,068	1,119	51	1,119	1,028	1,102	100%	◎	91%	○	98%	○	108%	○		
3 3号認定（認定こども園及び保育所＋小規模保育等）		人	1,415	1,216	▲ 199	1,289	1,216	1,197	106%	◎	100%	◎	98%	○	106%	○	3号認定について、利用希望者のうち92名が辞退したため、いわゆる待機児童は発生しなかった。 0歳は、実際の確保方策よりも利用者数が20名程度下回る結果となった。 1・2歳は、実際のニーズ量に対して確保方策を満たすことができなかった。	必要量確保のため、職員確保や施設改修等受入基盤の整備を行うとともに、幼稚園の認定こども園への移行、小規模保育事業への事業参入を促していく。
(内訳 1) 0歳			130	107	▲ 23	103	107	84	96%	◎	100%	◎	78%	○	96%	◎		
特定教育・保育施設				107			107	84			100%	◎	78%	○				
特定地域型保育事業				0			0	0										
認可外保育施設				0			0	0										
1・2歳			1,285	1,109	▲ 176	1,186	1,109	1,113	106%	◎	100%	◎	100%	◎	106%	○		
特定教育・保育施設				1,109			1,109	1,113			100%	◎	100%	◎				
特定地域型保育事業				0			0	0										
認可外保育施設				0			0	0										
(内訳 2) 0歳			130	107	▲ 23	103	107	84	96%	◎	100%	◎	78%	○	96%	◎		
東部			21	12	▲ 9	17	16	13	141%	×	133%	×	108%	◎	106%	○		
南部			35	34	▲ 1	27	32	25	79%	○	94%	○	73%	○	84%	◎		
西部			28	26	▲ 2	23	18	16	88%	○	69%	×	61%	×	127%	○		
北部			46	35	▲ 11	36	41	30	102%	◎	117%	◎	85%	○	87%	◎		
1・2歳			1,285	1,109	▲ 176	1,186	1,109	1,113	106%	◎	100%	◎	100%	◎	106%	○		
東部			249	211	▲ 38	225	211	210	106%	◎	100%	◎	99%	○	106%	○		
南部			383	333	▲ 50	320	322	302	96%	◎	96%	○	90%	○	99%	◎		
西部			281	250	▲ 31	284	243	272	113%	○	97%	○	108%	◎	116%	○		
北部			372	315	▲ 57	357	333	329	113%	○	105%	◎	104%	◎	107%	○		

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容

事業名		単位	平成27年度														評価コメント	今後の方針
			計画数値			実 績			評価									
			A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 （利用希 望者数）	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際の ニーズ量 ／計画上 の確保方 C／B	◎：90%～ 110% ○：70%～90% 又は110%～ 130% ×：～70%又 は130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎：100%～ 130% ○：70%～ 100% ×：～70%又 は130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎：100%～ 130% ○：70%～ 100% ×：～70%又 は130%～	実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D	◎：70%～ 100% ○：100%～ 130% ×：～70%又 は130%～		
1 時間外保育事業（延長保育）		人	151	151	0	137	137	137	90%	◎	90%	○	90%	○	100%	◎	南部地区以外は 計画数値を満たし ていないが、実際 の利用希望に対し ては充足できている。	引き続き提供体 制を維持し、必要 量の確保に努め る。 東部・南部の、 実際のニーズ量等 と計画上の確保方 策とに大幅な差異 があるが、保護者 の就労状況により ニーズ量は流動的 で、単年度のみ の一時的な増減と考 えられるため、計 画の見直しは行わ ない。
(内訳)東部			36	36	0	20	20	20	55%	×	55%	×	55%	×	100%	◎		
南部			36	36	0	56	56	56	155%	×	155%	×	155%	×	100%	◎		
西部			34	34	0	27	27	27	79%	○	79%	○	79%	○	100%	◎		
北部			45	45	0	34	34	34	75%	○	75%	○	75%	○	100%	◎		
2 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）		人	1,402	1,280	▲ 122	1,226	1,306	1,208	95%	◎	102%	◎	94%	○	93%	◎	確保方策として は、合計1,306人 分を確保し、目標 の1,280人を上 回った。 しかし、個々の 児童クラブでは受 入可能人数を上回 るところが発生し たため、待機児童 が発生した。具体 的には豊小と八南 小で、合計18人。 どの児童クラブ も、3年生以下は条 例上の定員の枠を 超えても受け入れ ることを前提に調 整をした。 確保方策は、部 屋単位で行うた	施設の拡充と職 員の確保をさらに 推進する。 施設の拡充につ いては小学校内の 部屋を基本として 小学校と協議をす る。 職員の確保につ いては処遇の改善 や勤務シフトの見 直しを行う。 実態としての ニーズが、計画策 定時より大幅に変 化しているため、 実施の実現性を高 めるため、子ど も・子育て支援事 業計画の内容を平 成28年度中に見直
小学1～3年生			1,152			1,043		1,043										
小学4～6年生			250			183		165										
(内訳) 東部			325	321	▲ 4	281	326	273	87%	○	101%	◎	85%	○	86%	◎		
小学1～3年生			269			250		250										
小学4～6年生			56			31		23										
豊川小学校			44	40	▲ 4	39	35	39	97%	◎	87%	○	97%	○	111%	○		
小学1～3年生			36			35		35										
小学4～6年生			8			4		4										
東部小学校			64	64	0	47	63	47	73%	○	98%	○	73%	○	74%	◎		
小学1～3年生			53			46		46										
小学4～6年生			11			1		1										
桜木小学校			67	67	0	63	76	63	94%	◎	113%	◎	94%	○	82%	◎		
小学1～3年生			56			54		54										
小学4～6年生			11			9		9										
豊小学校			64	64	0	55	35	47	85%	○	54%	×	73%	○	157%	×		
小学1～3年生			53			47		47										
小学4～6年生			11			8		0										
一宮東部小学校			27	27	0	28	44	28	103%	◎	162%	×	103%	◎	63%	×		
小学1～3年生			22			24		24										
小学4～6年生			5			4		4										
一宮西部小学校			42	42	0	34	40	34	80%	○	95%	○	80%	○	85%	◎		
小学1～3年生			35			33		33										
小学4～6年生			7			1		1										
一宮南部小学校			17	17	0	15	33	15	88%	○	194%	×	88%	○	45%	×		
小学1～3年生			14			11		11										
小学4～6年生			3			4		4										

事業名			単位	平成27年度													評価コメント	今後の方針	
				計画数値			実 績			評価									
				A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際の ニーズ量 ／計画上 の確保方 C／B	◎:90%～ 110% ○:70%～90% 又は110%～ 130% ×:～70%又 は130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D			◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又 は130%～
(内訳) 南部			人	330	298	▲ 32	285	261	285	95%	◎	87%	○	95%	○	109%	○	め、実際のニース が確保方策を大幅 に下回る児童クラ ブもあるが、やむ をえない。	9。
小学1～3年生				276			226		226										
小学4～6年生				54			59		59										
牛久保小学校				42	40	▲ 2	31	29	31	77%	○	72%	○	77%	○	106%	○		
小学1～3年生				35			29		29										
小学4～6年生				7			2		2										
中部小学校				100	80	▲ 20	84	72	84	105%	◎	90%	○	105%	◎	116%	○		
小学1～3年生				84			78		78										
小学4～6年生				16			6		6										
天王小学校				50	40	▲ 10	32	35	32	80%	○	87%	○	80%	○	91%	◎		
小学1～3年生				42			25		25										
小学4～6年生				8			7		7										
小坂井東小学校				53	53	0	52	50	52	98%	◎	94%	○	98%	○	104%	○		
小学1～3年生				44			32		32										
小学4～6年生				9			20		20										
小坂井西小学校				85	85	0	86	75	86	101%	◎	88%	○	101%	◎	114%	○		
小学1～3年生				71			62		62										
小学4～6年生				14			24		24										
(内訳) 西部				278	250	▲ 28	293	329	293	117%	○	131%	×	117%	◎	89%	◎		
小学1～3年生				231			239		239										
小学4～6年生				47			54		54										
国府小学校				46	40	▲ 6	53	76	53	132%	×	190%	×	132%	×	69%	×		
小学1～3年生				38			49		49										
小学4～6年生				8			4		4										
御油小学校				61	61	0	64	46	64	104%	◎	75%	○	104%	◎	139%	×		
小学1～3年生				51			55		55										
小学4～6年生				10			9		9										
萩小学校				20	20	0	26	59	26	130%	○	295%	×	130%	◎	44%	×		
小学1～3年生				17			12		12										
小学4～6年生				3			14		14										
長沢小学校				31	31	0	28	26	28	90%	◎	83%	○	90%	○	107%	○		
小学1～3年生				26			24		24										
小学4～6年生				5			4		4										
赤坂小学校				40	30	▲ 10	43	25	43	143%	×	83%	○	143%	×	172%	×		
小学1～3年生				33			40		40										
小学4～6年生				7			3		3										
御津北部小学校				32	20	▲ 12	27	17	27	135%	×	85%	○	135%	×	158%	×		
小学1～3年生				26			25		25										
小学4～6年生				6			2		2										
御津南部小学校				48	48	0	52	80	52	108%	◎	166%	×	108%	◎	65%	×		
小学1～3年生				40			34		34										
小学4～6年生				8			18		18										

事業名			単位	平成27年度														評価コメント	今後の方針
				計画数値			実 績			評価									
				A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際の ニーズ量 ／計画上 の確保方 策 C／B	◎:90%～ 110% ○:70%～90% 又は110%～ 130% ×:～70%又 は130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D	◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又 は130%～		
(内訳) 北部			人	469	411	▲ 58	367	390	357	89%	○	94%	○	86%	○	94%	◎		
小学1～3年生				376			328		328										
小学4～6年生				93			39		29										
三蔵子小学校				111	111	0	85	131	85	76%	○	118%	◎	76%	○	64%	×		
小学1～3年生				89			82		82										
小学4～6年生				22			3		3										
金屋小学校				41	40	▲ 1	42	35	42	105%	◎	87%	○	105%	◎	120%	○		
小学1～3年生				33			33		33										
小学4～6年生				8			9		9										
千両小学校				30	30	0	20	33	20	66%	×	110%	◎	66%	×	60%	×		
小学1～3年生				24			14		14										
小学4～6年生				6			6		6										
八南小学校				138	120	▲ 18	94	71	84	78%	○	59%	×	70%	○	132%	×		
小学1～3年生				110			84		84										
小学4～6年生				28			10		0										
平尾小学校				47	40	▲ 7	31	48	31	77%	○	120%	◎	77%	○	64%	×		
小学1～3年生				38			28		28										
小学4～6年生				9			3		3										
桜町小学校				42	30	▲ 12	39	25	39	130%	○	83%	○	130%	◎	156%	×		
小学1～3年生				34			38		38										
小学4～6年生				8			1		1										
代田小学校				60	40	▲ 20	56	47	56	140%	×	117%	◎	140%	×	119%	○		
小学1～3年生				48			49		49										
小学4～6年生				12			7		7										
3 子育て短期支援事業			人日	80	80	0	90	90	90	112%	○	112%	◎	112%	◎	100%	◎	見込みをやや上 回るニーズ量が あったが、全て受 け入れた。	現状の受入れ体 制を維持・継続す る。
4 地域子育て支援拠点事業			人回	104,218	104,218	0	53,289	53,289	53,289	51%	×	51%	×	51%	×	100%	◎	児童館及びつど いの広場の利用者 数。0～2歳児の 利用者数を集計し ているが、全体と して計画数値に比 べ、かなり下回っ た。児童館全体で は相当数の利用者 数があるが、小学 生等がメインに なっている。 また、あかさか 児童館が休館中 だったことも実績 数が少ない要因と なっている。	引き続き、サー ビス内容の維持を 図りつつ、特に0 ～2歳児の連れた 保護者が利用しや すい工夫に努め る。 計画数値は、こ のままとし、当面 推移を見守る。
(内訳)東部				23,993	23,993	0	6,178	6,178	6,178	25%	×	25%	×	25%	×	100%	◎		
南部				25,067	25,067	0	17,056	17,056	17,056	68%	×	68%	×	68%	×	100%	◎		
西部				22,898	22,898	0	8,137	8,137	8,137	35%	×	35%	×	35%	×	100%	◎		
北部				32,260	32,260	0	21,918	21,918	21,918	67%	×	67%	×	67%	×	100%	◎		

事業名	単位	平成27年度															評価コメント	今後の方針
		計画数値			実 績			評価										
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量 ／計画上の確保方 C／B	◎:90～110% ○:70～90% 又は110～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／ 計画上の確保方策 D／B	◎:100～130% ○:70～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／ 計画上の確保方策 E／B	◎:100～130% ○:70～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量 ／実際の確保方策 C／D	◎:70～100% ○:100～130% ×:～70%又は130%～			
5 幼稚園における一時預かり事業	人日	18,363	18,363	0	31,441	31,441	31,441	171%	×	171%	×	171%	×	100%	◎	ニーズ量に対しては各幼稚園で実施している預かり保育の提供体制で充足できている。	現状の提供体制を維持・継続できるように幼稚園と調整を図っていく。 実績が計画数値を大きく上回っているが、ニーズに対して受入れはできているため、計画数値はこのままとし、推移を見守る。	
(内訳)1号認定		11,211																
2号認定		7,152																
6 保育所その他の場所での一時預かり事業	人日	11,027	6,600	▲ 4,427	－	7,401	7,401			112%	◎	112%	◎			一時預かりは、計画を上回る6,495人分を確保し、受け入れた。 子育て援助支援事業（ファミサポ）は、ほぼ計画どおり推移した。 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）は、元々確保方策を0としているが、実績も無かった。	一時預かりは、実施園を拡充し、必要量を確保していく。 子育て援助支援活動（ファミサポ）は、継続して援助会員を増やし、円滑な事業実施に努める。	
(内訳)一時預かり			5,750			6,495	6,495			112%	◎	112%	◎					
子育て援助活動支援事業			850			906	906			106%	◎	106%	◎					
子育て短期支援事業			0			0	0											
7 病児・病後児保育事業	人日	1,472	600	▲ 872	417	600	397	69%	×	100%	◎	66%	×	69%	×	計画どおり600人分を確保したが、実際の利用者は397人であった。 実際のニーズ量は、利用登録をした人数とした。実際のニーズ量に比べ実際の利用者数が少ないのは、登録だけして実際には利用されない方がいるため。	数値上は、ニーズ量に対し確保方策にかなり余裕があるが、実際には利用時期に偏りがあるため、余裕がある状態とはいえない。 そのため、計画の見直しは行わず、計画期間中にもう1箇所施設を確保することも、予定どおり進める。	

事業名	単位	平成27年度															評価コメント	今後の方針
		計画数値			実績			評価										
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量 ／計画上の確保方策 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90% 又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／ 計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／ 計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量 ／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～			
8 ファミリー・サポート・センター事業（就学児童のみ）	人日	1,641	1,641	0	1,191	1,191	1,191	72%	○	72%	○	72%	○	100%	◎	児童クラブの終了時間が19時まで延長された為、前年度より利用者数が少なくなった。	継続して周知を図り、継続して援助会員を増やし、円滑な事業実施に努める。	
9 利用者支援事業	か所	1	0	▲ 1	0	0	0									平成28年度からの事業開始に向け、事業内容の検討等を実施した。	平成28年度から事業を開始する。 なお、"基本型"と"母子保健型"を同時に開始し、一体として利用者支援事業と位置付ける。	
10 妊婦健康診査事業	件	23,296	23,296	0	18,077	18,077	18,077	77%	○	77%	○	77%	○	100%	◎	妊婦健康診査受診券は1人14回分となっている。受診券は、妊娠の経過等により未使用の券が発生する為、実績数が減っている。 実際は平均11枚の利用だった。	妊娠の届出により全ての妊婦に発行している。継続して事業を実施する。	
11 乳児家庭全戸訪問事業	人	1,664	1,664	0	1,614	1,614	1,614	96%	◎	96%	○	96%	○	100%	◎	出生児が見込みよりやや減り、また転出等もあった為、計画よりも少なかった。対象者に対しては全て対応できている。	今後も継続して全ての対象者を訪問していく。	
12 養育支援訪問事業	回	390	390	0	592	592	592	151%	×	151%	×	151%	×	100%	◎	これまで4ヶ月児健診までの間に3回程度訪問していたのを、より手厚く支援するため、1歳まで間に6回程度の訪問に拡充した。	継続して事業を充実しながら実施する。 計画に対し大幅増であるが、国で「新たな子ども家庭福祉のあり方」が検討されており、本制度への影響の可能性もある為、計画数値は、当面このままとする。	

※計画策定時にニーズ量(見込み)よりも確保方策の方が少ないものについては、計画上、今後5年間(平成31年度末まで)に達成することとしています。